

婚姻届 記入例

婚姻届

令和〇〇年〇月〇日届出

兵庫県芦屋市長殿

受理 令和 年 月 日	発送 令和 年 月 日					
第 号	長印					
送付 令和 年 月 日						
第 号						
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知

＜届出地＞
届出人の所在地
もしくは
届出人の本籍地

＜届出に必要なもの＞

- 婚姻届書 1通
- 戸籍謄本 各1通
(現在の本籍地に届出する場合は不要です)
- 窓口に来られる方の本人確認書類
(マイナンバーカードや運転免許証など)

(1) 氏名	夫になる人	妻になる人
	あしや たろう 氏名 芦屋 太郎	にしのみや はなこ 氏名 西宮 花子
(2) 住所	兵庫県芦屋市精道町 7番6-101号	左に同じ
	あしや たろう 世帯主の氏名 芦屋 太郎	左に同じ 世帯主の氏名
(3) 本籍	兵庫県芦屋市精道町 93 番地	京都府京都市上京区 小山初音町18 番地
	筆頭者の氏名 芦屋 和夫	筆頭者の氏名 西宮 忠治

署名 (※押印は任意)	芦屋 一郎 印	西宮 忠治 印
生年月日	昭和30年 〇月 〇日	昭和33年 〇月 〇日
住所	東京都千代田区九段南 1丁目2番1号	神戸市中央区加納町 6丁目5番1号
本籍	兵庫県芦屋市精道町 93 番地	京都府京都市上京区 小山初音町18 番地

「養父母の氏名」欄
・養父母がいる場合は氏名を記入してください
・記入欄がない場合はその他欄に記入してください

「住所」欄
・届出日時点で住民登録されているところを記入してください。
・婚姻届と同時に住民異動届を提出される場合は、新しい住所を記入してください。

「証人」欄
・成年の方お2人に記入して頂いてください。

「婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍」欄
・婚姻後に称する氏の方がすでに戸籍の筆頭者となっている場合は、新本籍は記入しないでください。

「初婚・再婚の別」欄
・妻が再婚の場合は、待婚期間を経過していることが必要です。
(ただし、前婚の夫との再婚の場合や前婚解消前に懐胎していた子どもを出産した後に再婚する場合などは除きます。)

「届出人署名押印」欄
・署名は必ず本人が自署してください。
・押印は任意です。

夫	婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	<input checked="" type="checkbox"/> 夫の氏 <input type="checkbox"/> 妻の氏	新本籍 (左の☑の氏の方がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください) 兵庫県芦屋市精道町 7 番地
不受理	同居を始めたとき		令和〇〇年〇〇月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)
通知	初婚・再婚の別	夫 <input checked="" type="checkbox"/> 初婚 <input type="checkbox"/> 再婚 (<input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別)	妻 <input checked="" type="checkbox"/> 初婚 <input type="checkbox"/> 再婚 (<input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別)
妻	同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯のおもな仕事と	夫 <input checked="" type="checkbox"/> 妻 <input checked="" type="checkbox"/>	1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 6. 仕事をしている者のいない世帯
不受理	夫妻の職業	夫の職業	妻の職業
通知	その他	夫の養父「芦屋和夫」続柄「養子」 夫の養母「芦屋清子」	
使者	届出人署名	夫 芦屋 太郎 印	妻 西宮 花子 印
送付	事件簿番号	住所を定めた年月日	連絡先
確認		夫 年 月 日	電話 090 (****) ****
通知		妻 年 月 日	自宅・勤務先 [携帯]

お問い合わせ先
芦屋市役所 市民課
TEL (0797) 38-2030